

## ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める声明文

このたびの、ロシアによるウクライナへの侵攻と核兵器の使用を示唆した、一連の行動は、力による一方的な現状変更を試みるばかりでなく、恒久平和を希求する国際社会の懸命な努力を踏みにじる、国際秩序の根幹を揺るがす行為として、断じて許されず、厳しく非難をするものです。

本市では、全国でも極めて早い時期に、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、市民の皆さんとともに、恒久平和と「核兵器のない世界」の実現に向け、一步一步、真摯かつ継続的に取組を進めております。

また、先の2月28日には、本市が設立初期から長きにわたり、副会長を務める、「日本非核宣言自治体協議会」として、ロシア連邦大統領に対し、平和的解決を強く求める抗議文を発出しております。

折しも、本市の平和都市宣言から40周年を迎えようとする中、郷土を愛する人々の命と尊厳が、非人道的に奪われることや、核兵器による威嚇などは、決して許されるものではありません。

宣言は、全市民の願いであり、未来への誓いです。

今を生きるすべての藤沢市民とともに、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を即刻中止し、事態の平和的解決を図るよう、強く求めます。

以上、ここに声明をいたします。

2022年（令和4年）3月4日

藤沢市長 